

「日頃の教育に対する工夫、及び今後の教育への抱負」

機械・システム工学科

機械工学コース 岡田将人

令和5年度の機械工学コースの優秀教員に選出いただきました。はじめに本制度に御協力いただいた学生の皆さん、教職員の皆様に御礼申し上げます。昨年度に初めて選出いただき、今回で2回目となりました。大変光栄に思います。昨年度にもここで記載しましたが、学生の皆さんが「今日も昨日より成長できた」毎日となるように、自身なりに教育研究に取り組んできました。この選出が、その思いと取り組みに対する結果であれば心底嬉しいところですが、自身の中で何が良かった点であるのか…まだ解が見つかっておらず、昨年度に引き続き分析が必要な状況です。それを踏まえた上で、「日頃の工夫」と「今後の抱負」をご覧くださいましたら幸いです。

【日頃の教育に対する工夫】

● 「教員とコミュニケーションが取れる授業だった／教員との距離感がよかった」

昨年度の私の授業アンケートで寄せられたコメントです。昨年度のこのレポートでも、このコメントを紹介しました。よくよく考えましたら、このコメントを昨年度に寄せてくれた学年が、今回の優秀教員投票の対象学年でした（要するに、昨年度は分析に用いるデータを取り違えていたようです…）。そのため、再度、このコメントで分析します。演習と違って座学は「教員 ⇒ 受講生」の一方通行になりがちです。受講生との言葉のキャッチボールを授業進行中に楽しむほどのテクニックは私にないため、小レポートの最後に自由記述欄を設けることでコミュニケーションのチャンスを窺うようにしています。そして、すべてのコメントに回答をして、なるべくキャッチボールが続くように努めています。自由記述ですので、ほどよい距離感とっていただけたのかもしれません。

● 「企画いただいた展示会に参加して、先生の専攻分野のことを知り興味を持った」

私の専攻分野は精密加工です。普段の生活で加工後の工業製品は目にしますが、その製品が加工されている過程を目にすることはあまりありません。そのため私の専攻分野は、普段の生活では見えないところで活躍しています。そんな分野のことを知っていただくために、課外活動として加工機械の展示会の見学会を企画しています。上記コメントは、その見学会の参加学生から寄せられたコメントです。展示会では、機械の実物が目の前で動く様子を見ることができます。技術者の方々が説明されている様子を見ることができます。普段の講義と併せて、そのような機会を提供するのも学生のみなさんの興味喚起に重要なことと感じています。単に私が展示会に行きたくて見学会を開催している…というのは内緒です。

【今後の教育への抱負】

昨年度と今年度を選出いただき、その過程で自身なりに良かった点を分析してきました。今のところ、「教員が学生との信頼関係を構築しようとする姿」、「教員が専攻分野を楽しんでいる姿」、「専攻分野が社会で活躍する姿」を学生に見える形で露にしたことが良かった点である…が暫定解です。今後も、学生との縁と専攻分野を楽しみながら、分析を進めていきます。